



6 わり算の筆算（2）

学 年		組		氏 名	
--------	--	---	--	--------	--

- ① ちえ先生は、40さつのノートを20人いるクラスの全員に同じ数ずつくばることにしました。そこで、ちえ先生は、クラスのかずゆきさんと $40 \div 20$ の計算のしかたについて話し合いました。次の文は、ちえ先生とかずゆきさんとの会話です。①～③にあてはまる数を書きましょう。

【ちえ先生】
「40は10を何こ集めた数ですか。」

【かずゆきさん】
「(① 4) こです。」

【ちえ先生】
「はい、そうですね。それで 20は10を何こ集めた 数ですか。」

【かずゆきさん】
「(② 2) こです。」

【ちえ先生】
「そうですね。それでは、 $40 \div 20$ を10をもとにして考えてみましょう。式はどうなりますか。」

【かずゆきさん】
「(① 4) \div (② 2) = (③ 2) になるので、 $40 \div 20 =$ (③ 2) だと思います。」

【ちえ先生】
「そのとおりです。1人 (③ 2) さつずつくばることになりますね。」

- ② 次の計算をしましょう。

(1) $90 \div 30$

(3)

(2) $150 \div 50$

(3)

(3) $240 \div 60$

(4)

(4) $490 \div 70$

(7)

- ③ 次の計算について、①、②の部分が正しいければ○を、まちがっていれば正しい数を書きましょう。

$$130 \div 20 = \underset{\substack{\uparrow \\ \textcircled{1}}}{5} \text{あまり} \underset{\substack{\uparrow \\ \textcircled{2}}}{30}$$

① (6)

② (10)